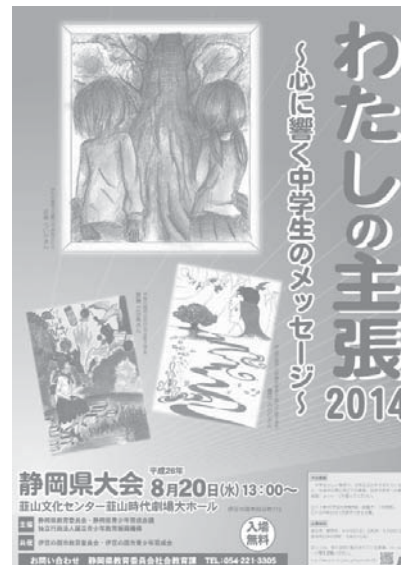


静岡県大会

心に響く中学生のメッセージ

県内の中学生が将来の夢や希望、社会や人へのメッセージを自らの言葉で語ります。新鮮な感性がもたらす中学生の発表は、私たちの心に直接響いてきます。



とき 8月20日(水) 13時

ところ 葦山時代劇場大ホール

※入場無料

内容

▼わたしの主張発表13人

▼チアリーディング「パワフルキッズ」演技

▼劇団「DAN」演劇

市役所社会教育課

055-948-1461

【巡回交通事故相談】

とき 8月27日(水) 10:00~15:00

ところ 市役所大仁支所会議室
県交通事故相談所の相談員が交通事故に関するトラブルやさまざまな相談に応じます。(相談無料)
希望者は、事前に電話でご予約ください。

市役所地域づくり推進課
055-948-1412

安全・安心は家庭から

交通安全標語コンクール優秀作品

手を上げて ちゃんと見よう 右左
田口 夢乃 (大仁小)
横断歩道 いけるかなは あぶないよ
加藤 琉之介 (葦山南小)
安全を 忘れたところに 事故がくる
小川 翼 (長岡南小)

市役所地域づくり推進課 055-948-1412

図書館だより

今月のおすすめ ~T・ヤンソン生誕100年~

「ムーミン」シリーズでおなじみの児童文学者、トーベ・ヤンソンは1914年8月生まれ。今月生誕100年を迎えます。



『ムーミン谷の夏まつり』
下村隆一 (訳) / 講談社

谷に大洪水が押し寄せ、何もかもが水びたし。流れてきた劇場に移り住んだみんなは、夏まつりの日に巡り合う。ムーミン童話全集第4巻(全8巻)【全館】



『誠実な詐欺師』
富原真弓 (訳) / 筑摩書房

雪に埋もれた白い町で繰り広げられる確執と和解。ムーミン後に書かれた「幼いおとな」向けの物語。トーベ・ヤンソン・コレクション2(全8巻)【中央・長岡】

作品解説や『ムーミン』に登場する料理のレシピ本、北欧・フィンランドの本もあります。

『島暮らしの記録』 筑摩書房【中央】

『ムーミン谷への旅 トーベ・ヤンソンとムーミンの世界』 講談社【中央・葦山】

『ムーミンママのお料理の本』 サミ・マリラ (作) / 講談社【葦山】

『北欧へ行こう ダヤンのスケッチ紀行』 池田あきこ (著) / MPC【中央】

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/> 中央図書館 0558-76-5566 (月曜休館)

■閉架書庫ってどこのこと？

閉架書庫は、内容が古くなったり、本棚に置ききれなくなったりした本や雑誌をしまう場所です。

利用者の皆さんは入ることができないので、「閉架書庫」に探している本があることがわかったら、カウンター職員に声をかけてください。職員が本をお持ちします。



図書館カレンダー
モバイル版QRコード



文化財通信

その110

幕末明治期の異才、宇都宮三郎と葦山反射炉 (その3)

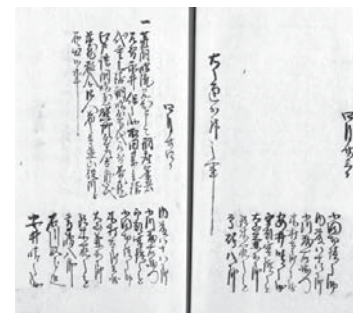
(6月号掲載(その2)より続く)

市役所文化振興課
055-948-1428

幕府から青銅製の野戦砲の製造

を命じられた葦山反射炉では、江戸の銅座で材料を調達することとなりました。文久3年(1863)正月、葦山反射炉に着任した宇都宮三郎は、網代浦(現熱海市網代)に出張し、江戸から回漕されてくる銅や錫を分析する仕事を任せられました。青銅砲の性能や耐久性は、銅の質によって大きく左右されるからです。

三郎の口述自伝『宇都宮氏経歴談』によれば、銅座の銅は鉛を含んでいて大砲製造に適さないため、質のよい銅を求めて何度も江戸へ送り返したそうです。しまいは銅座の役人たちが音をあげて、三郎のところまで直談判にやってきました。三郎は目の前で実験をして見せ、試薬の使用法も教えたので、彼らもようやく納得し、以後は純度の



文久3年日記4月24日条 (公益財団法人江川文庫蔵)

高い銅が納入されるようになった。いいいます。まさに、宇都宮三郎の化学者としての姿

勢を物語るエピソードです。こうした三郎の努力もあって、葦山反射炉では、文久3年の年末までに青銅製の野戦砲96門が製造されました。なお、三郎自身は、元治元年(1864)3月に筑波山で挙兵した天狗党の乱を鎮圧するため、幕府軍に加わって野州(現栃木県)に赴くことになりました。三郎が葦山反射炉に関わっていた時間は決して長くはありませんでしたが、明治維新後に化学者・実業家として活躍することになる、その異才ぶりを、反射炉でも十二分に発揮していたと言えるのではないのでしょうか。